

技術開発実験センター

多目的実験用水槽



日本下水道事業団
Japan Sewage Works Agency

多目的実験用水槽

本設備は、技術開発実験センター（栃木県真岡市）に設置された常設の実験用水槽です。水槽の設備は実際の処理施設に近い条件で、曝気装置、攪拌機の性能試験等の様々な用途に使用できるよう設計されており、水槽とそれに付属する給水、排水及び送風設備で構成されています。

1. 実験用水槽

水槽は長さ 12m×幅 6m×高さ 6.6m（有効水深 6m）の鋼板製です。通常は槽の中央に仕切板を設け 2 区画に区切っておりますが、これを取り外して、大水槽にすることもできます。槽の上面 1 周と中央を横断する形で 1m幅の作業歩廊を設け、その一部に荷受場（10m²）も作るなど、実験し易い設備にしています。

注）中央の仕切板で区切った一方の区画のみに水を張り、他区画を空にした使い方は強度上、出来ません。

2. 実験用水

実験用水は、井戸水または隣接する真岡市水処理センターから取水した汚水（流入下水、初沈流入水）、処理水を利用できます（フローシート参照）。

注）井戸水以外をご希望の場合は、別途、ご相談下さい。

なお、井戸水以外を使用する場合、受水槽から多目的実験水槽に汚水等を引き込むための仮設ポンプ、配管を利用者でご準備いただきます。

3. 送風設備

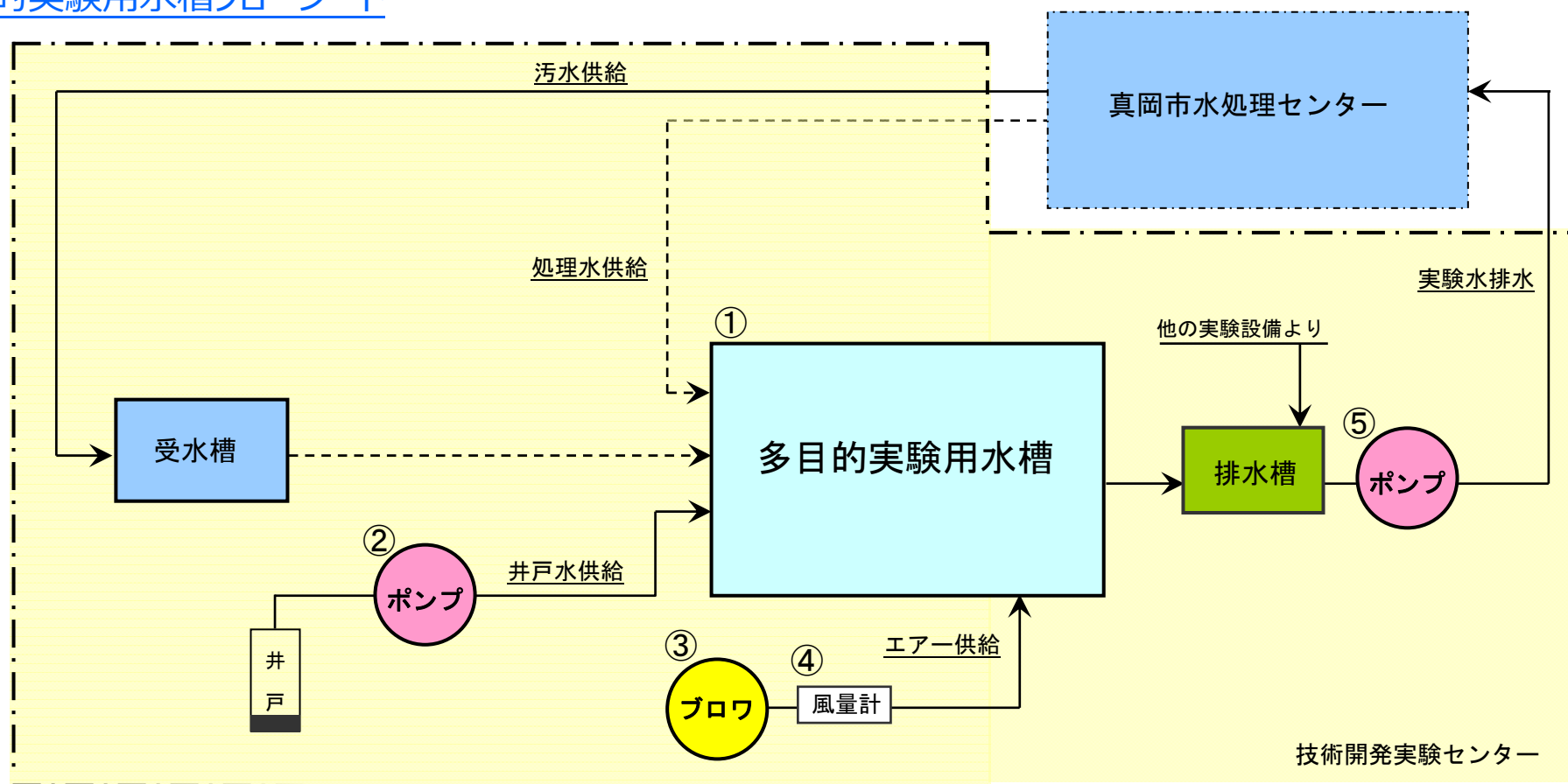
送風設備は、ルーツブロワにより最大 7m³/min の空気の供給が可能です。また送風量を計量するために風量計を設置してあります。

注）送風管は上部の作業歩廊部で、フランジ渡し（10K-80A）です。

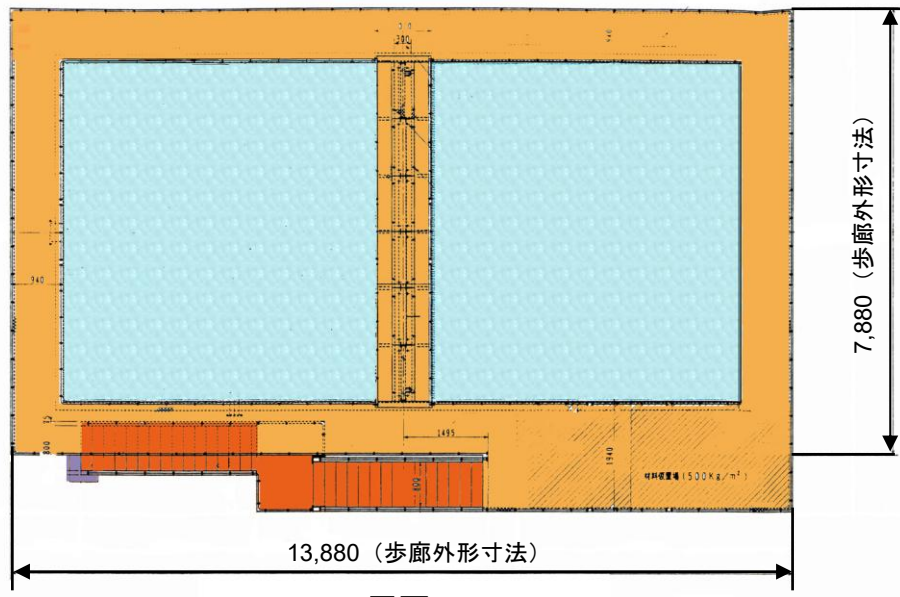


技術開発実験センター平面図

多目的実験用水槽フローシート



仕様	①	②	③	④	⑤
機器名称	多目的実験水槽	井戸ポンプ	ブロウ	風量計	排水ポンプ
形式	鋼板製水槽	渦巻ポンプ	ルールブロウ	オリフィス式	汚泥ポンプ
出力 (kW)	—	7.5 kW	15kW	—	7.5 kW
能力	432m ³	約 100 m ³ /日	6.6 m ³ /min×63.7kPa	—	約 800 m ³ /日 (全 2,640 m ³ /日)
備考	有効水深 6m	φ100mm	φ80mm	φ80mm	φ150mm×2



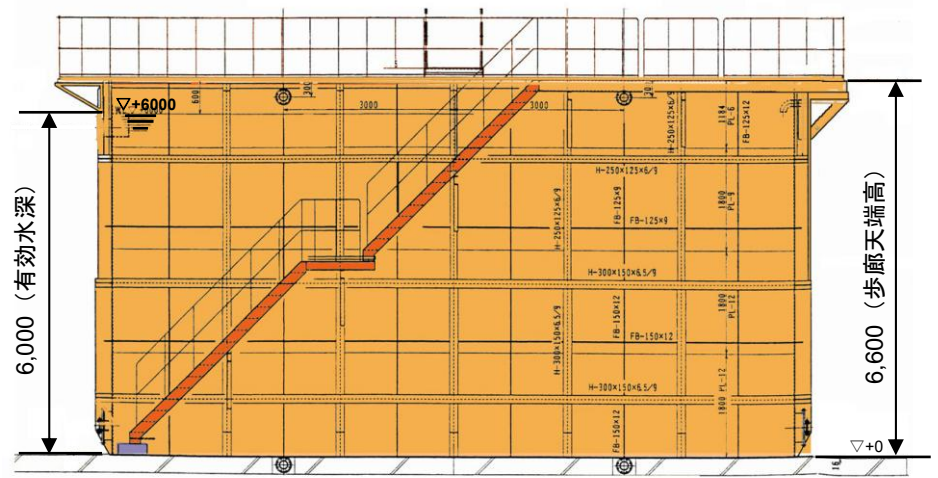
平面

(単位 : mm)

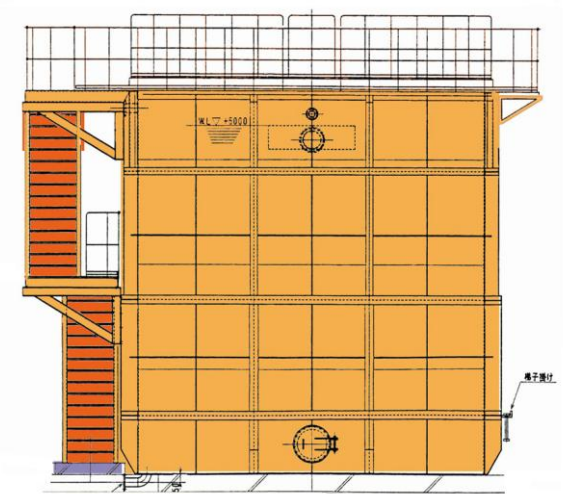


お問合せ先
 日本下水道事業団
 技術開発室
 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-27
 湯島台ビル 3F
 TEL : 03-6361-7849

技術開発実験センター所在地
 〒321-4334 栃木県真岡市八木岡 1309 番 2



正面



側面